



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ドア本体に穴をあけるときは、φ8のドリルで仕上げてください。穴が大きいと鋳物が脱落する原因となります。
- 鋳物をねじで固定する際、1.2~2N・m(12~20kgf・cm)のトルクで締付けてください。締付けがゆるいと鋳物が脱落する原因となり、締付けがきついとウェルナットが破損する原因となります。
- ドア本体に穴をあける際に、ドリルで表面材(室外側)に穴をあけないようにしてください。玄関ドアの性能を損なう原因となります。特に防火戸ドアの場合防火性能を損なう可能性がありますので、絶対に表面材(室外側)に穴をあけないように注意してください。

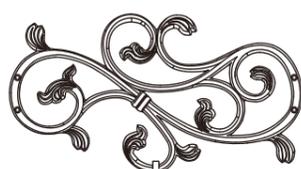
■取付け上のお願い

- 取付け作業は、ドア本体を水平に寝かせた状態で行ってください。
- 鋳物の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- ドア本体に穴をあける際に、ドリルの先端が表面材(室外側)に達しないように注意してください。表面材(室外側)が変形する原因となります。

■梱包明細表

名称	入数	詳細
鋳物	1	右のデザイン一覧
鋳物取付けねじ	4	トラス小ねじM4×32 ただし、13型、14型はM4×30
ウェルナット	4	-
型紙	1	-
著作権表示タグ	1	21型、22型のみ
取付け説明書	1	-

■鋳物デザイン一覧



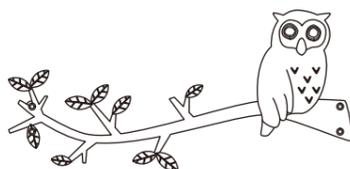
〈11型(唐草)〉



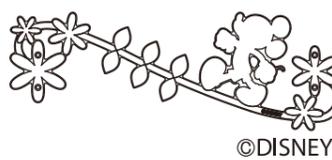
〈12型(ブーケ)〉



〈13型(ブローチ)〉

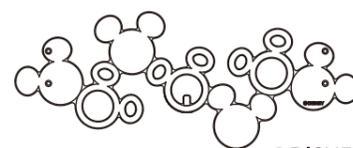


〈14型(フクロウ)〉



©DISNEY

〈21型(ミッキー)〉

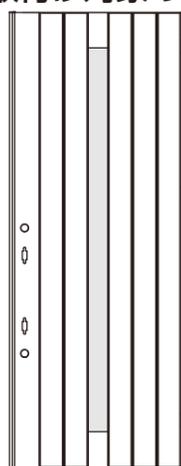


©DISNEY

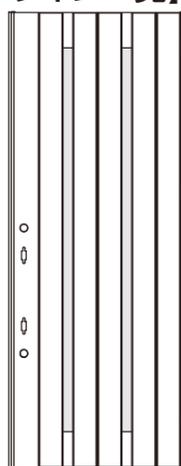
〈22型(ミッキー)〉

■玄関ドア ジェスタ及び グランデル に取付ける場合

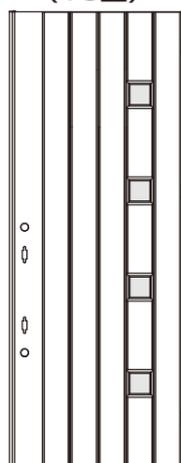
【取付け対象のドアのデザイン一覧】 〈 〉はジェスタ型番
()はグランデル型番



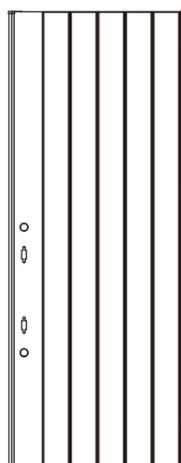
〈B12型〉
(18型)



〈B13型〉



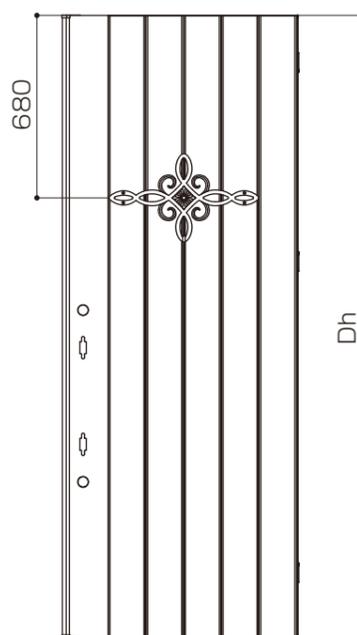
〈B14型〉
(19型)



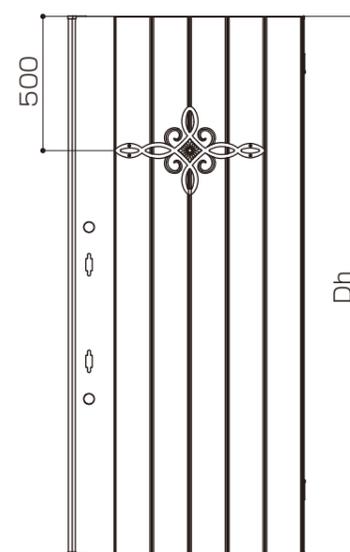
〈C17、C18型〉
(20型)

【鋳物の取付け推奨位置】

高さ方向の推奨位置は、ドア本体の上端から680mm下がった位置になります。
Dh≤2004の場合の推奨位置は、ドア本体の上端から500mm下がった位置になります。



Dh>2004の場合



Dh≤2004の場合

■取付け順序

1 取付け位置を決める

① 型紙の配置

ドア本体を水平に寝かせた状態にします。

横方向については、型紙の端部の線を戸先側に一番近い縦モールの角に合わせて、型紙を広げます。吊元側も縦モールの角に型紙の端部の線が合っていることを確認してください。

※ジエスタB12,B13型本体の場合は、型紙の両端部の『線ア』(-----)を使用して合わせてください。

ジエスタB14,C17,C18型本体、グランデル19,20型本体の場合は、型紙の両端部の『線イ』(————)を使用して合わせてください。

グランデル18型本体は、型紙の両端部の『線エ』(-----)を使用して合わせてください。

高さ方向は、型紙に表記されている『基準線』を、『推奨位置』に合わせてください。

② 型紙の仮固定

①で配置した型紙を、テープで仮固定してください。

③ 取付け位置のマーキング

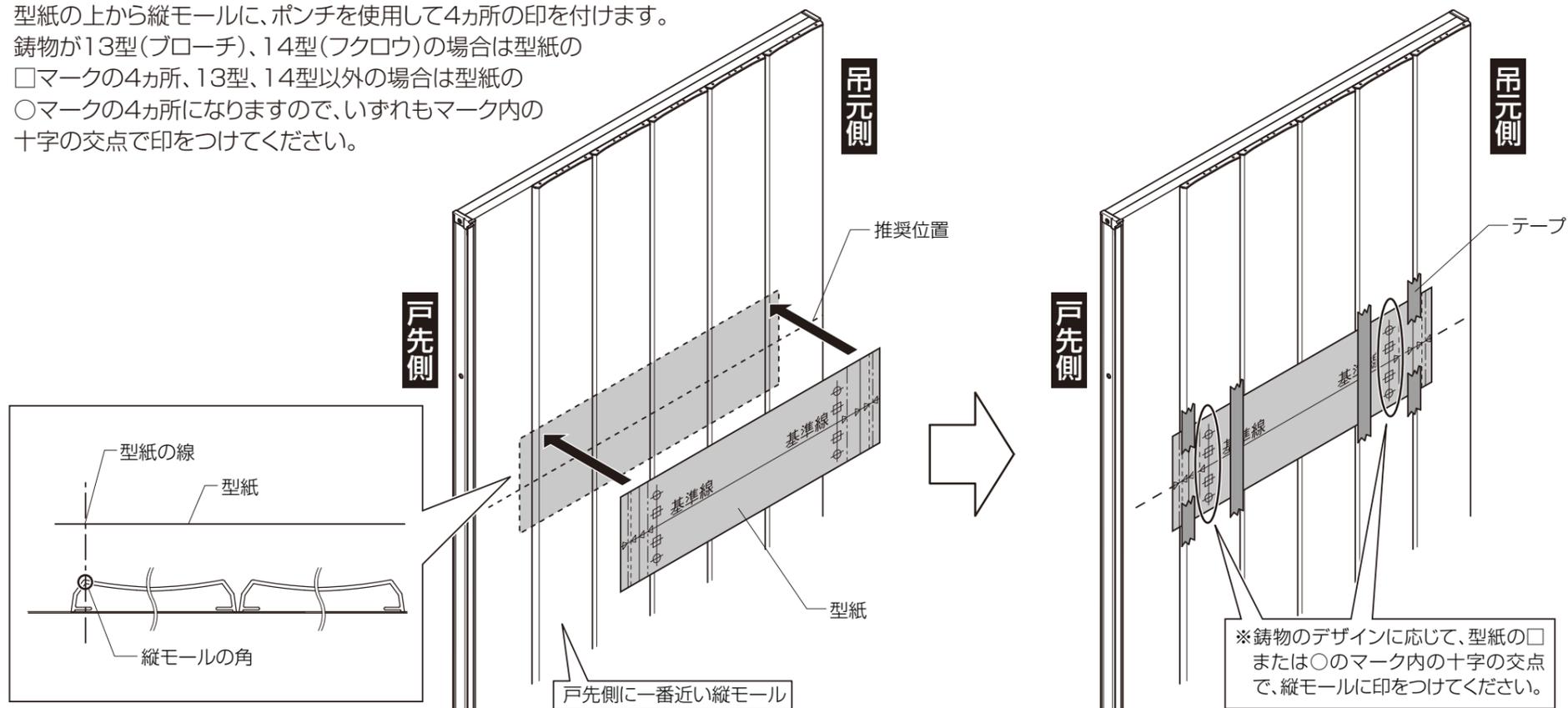
型紙の上から縦モールに、ポンチを使用して4カ所の印を付けます。

鋳物が13型(ブローチ)、14型(フクロウ)の場合は型紙の

□マークの4カ所、13型、14型以外の場合は型紙の

○マークの4カ所になりますので、いずれもマーク内の

十字の交点で印をつけてください。

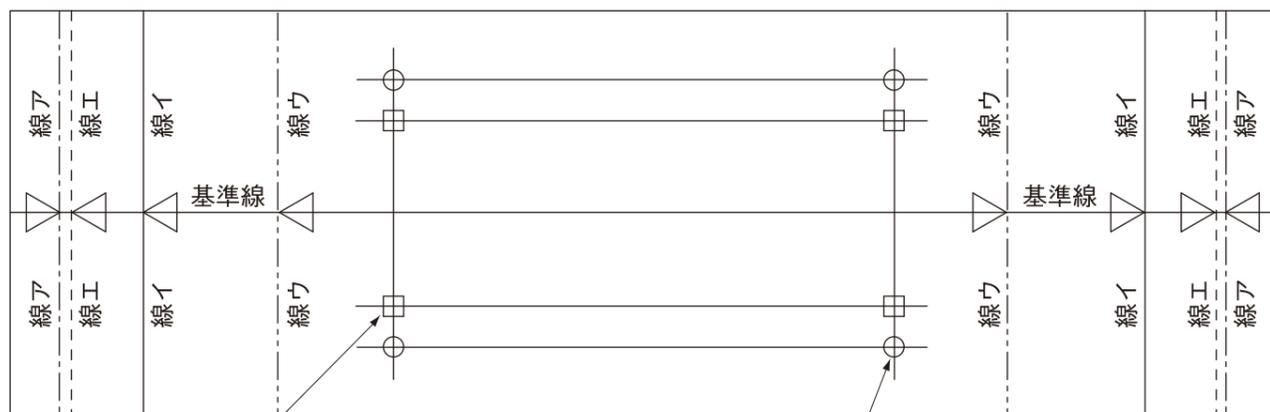


型紙の説明

※ジエスタB12、B13型本体の場合は、型紙の両端部の『線ア』を使用します。

ジエスタB14、C17、C18型本体、グランデル19、20型本体の場合は、型紙の両端部の『線イ』を使用します。

グランデル18型本体の場合は、型紙の両端部の『線エ』を使用します。



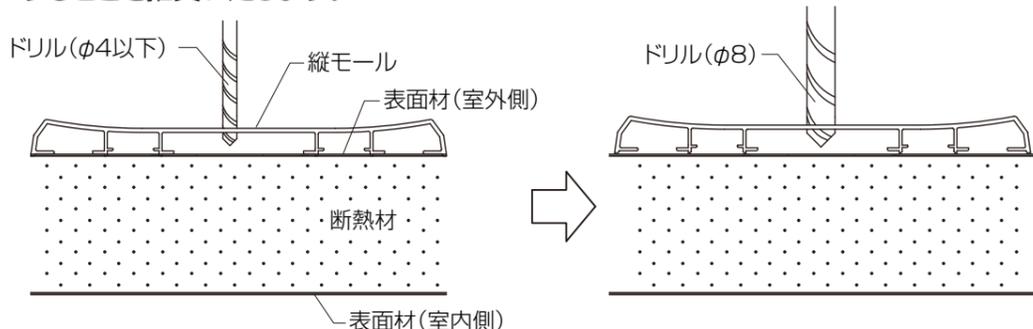
□ マークの4カ所
※13型(ブローチ)、14型(フクロウ)の取付け位置

○ マークの4カ所
※13型(ブローチ)、14型(フクロウ)以外の取付け位置

2 穴をあける

1で付けた4カ所の印に対して、縦モールにφ4以下のドリルで下穴をあけてください。次に同じ個所にφ8のドリルで穴をあけて仕上げてください。

※下穴をあける際に治具などを使ってドリルの刃が表面材(室外側)に当たらないように作業することを推奨いたします。

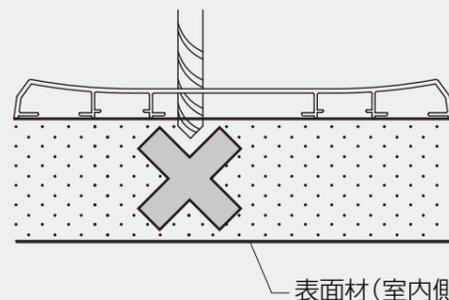


▲ 注意

●ドア本体の縦モールに穴をあけるときは、φ8のドリルで仕上げてください。穴が大きいと鋳物が脱落する原因となります。

▲ 注意

●ドリルで表面材(室外側)に穴をあけないようにしてください。玄関ドアの性能を損なう原因になります。



3 鋳物の取付け

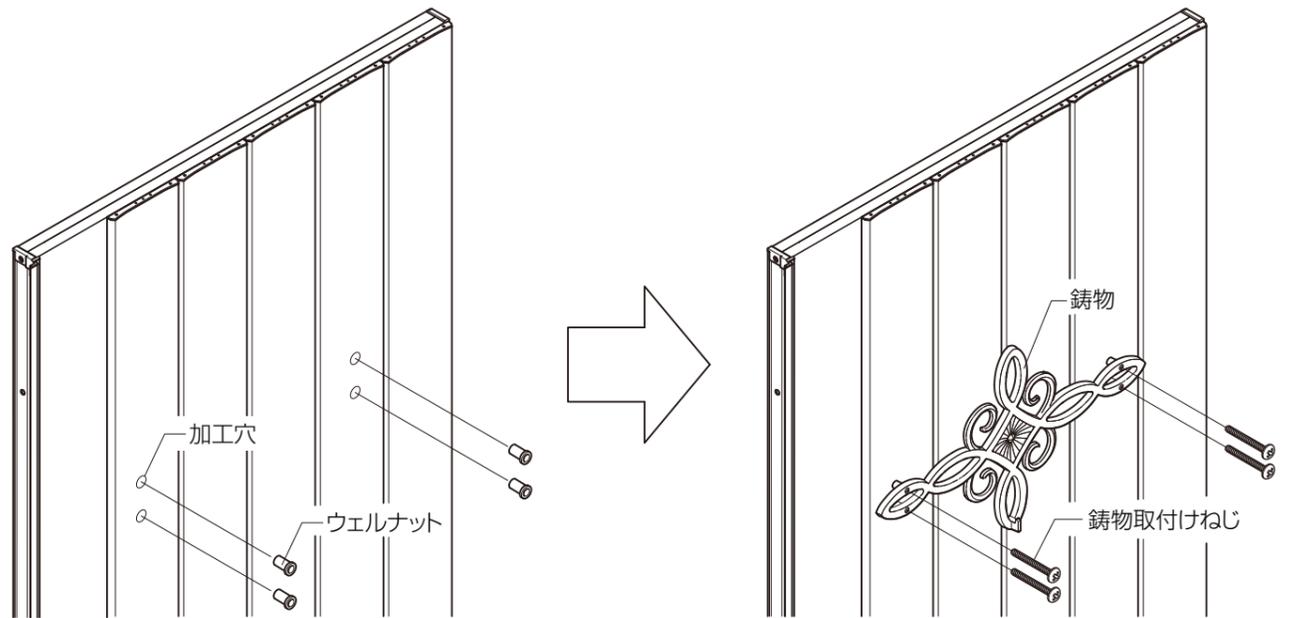
加工した穴にウェルナットを差込み、鋳物をあてがい、ねじで鋳物を取付けてください。

※ねじを締める際は、鋳物でウェルナットを押さえてください。

※ねじを締付け難い場合には、ウェルナットを先に鋳物に軽くねじ止めし、加工穴にウェルナットを差込み締付けてください。

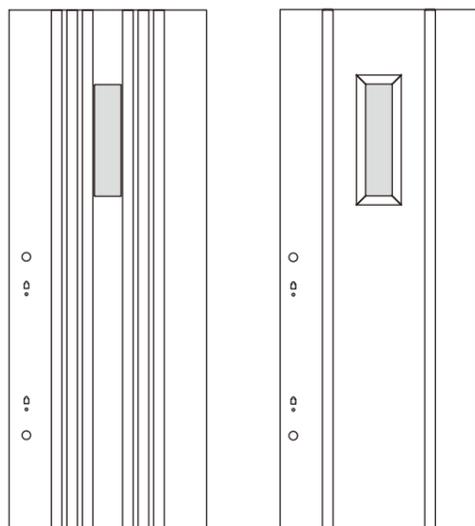
▲ 注意

●鋳物をねじで固定する際、1.2~2 N・m (12~20kgf・cm) のトルクで締付けてください。締付けがゆるいと鋳物が脱落する原因となり、締付けがきついとウェルナットが破損する原因となります。



■ 玄関ドア FG-E に取付ける場合

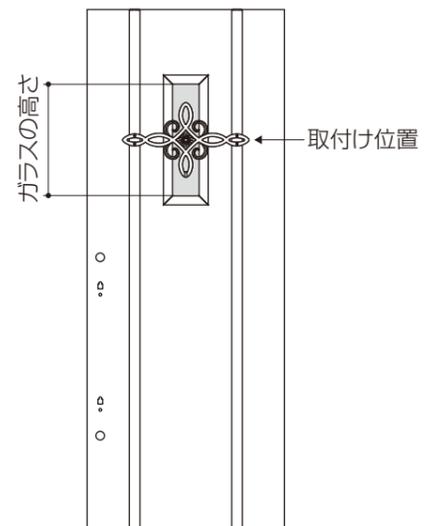
【取付け対象のドアのデザイン】



〈D11型〉

【鋳物の取付け位置】

高さ方向の取付け位置は、ガラスの高さの中央に位置するように鋳物を取付けてください。



■ 取付け順序

1 取付け位置を決める

① 型紙の配置

ドア本体を水平に寝かせた状態にします。

横方向については、型紙の端部の線を戸先側に一番近い縦モールの角に合わせて、型紙を広げます。吊元側も縦モールの角に型紙の端部の線が合っていることを確認してください。

型紙の両端部の『線ウ』(-----)を使用して合わせてください。

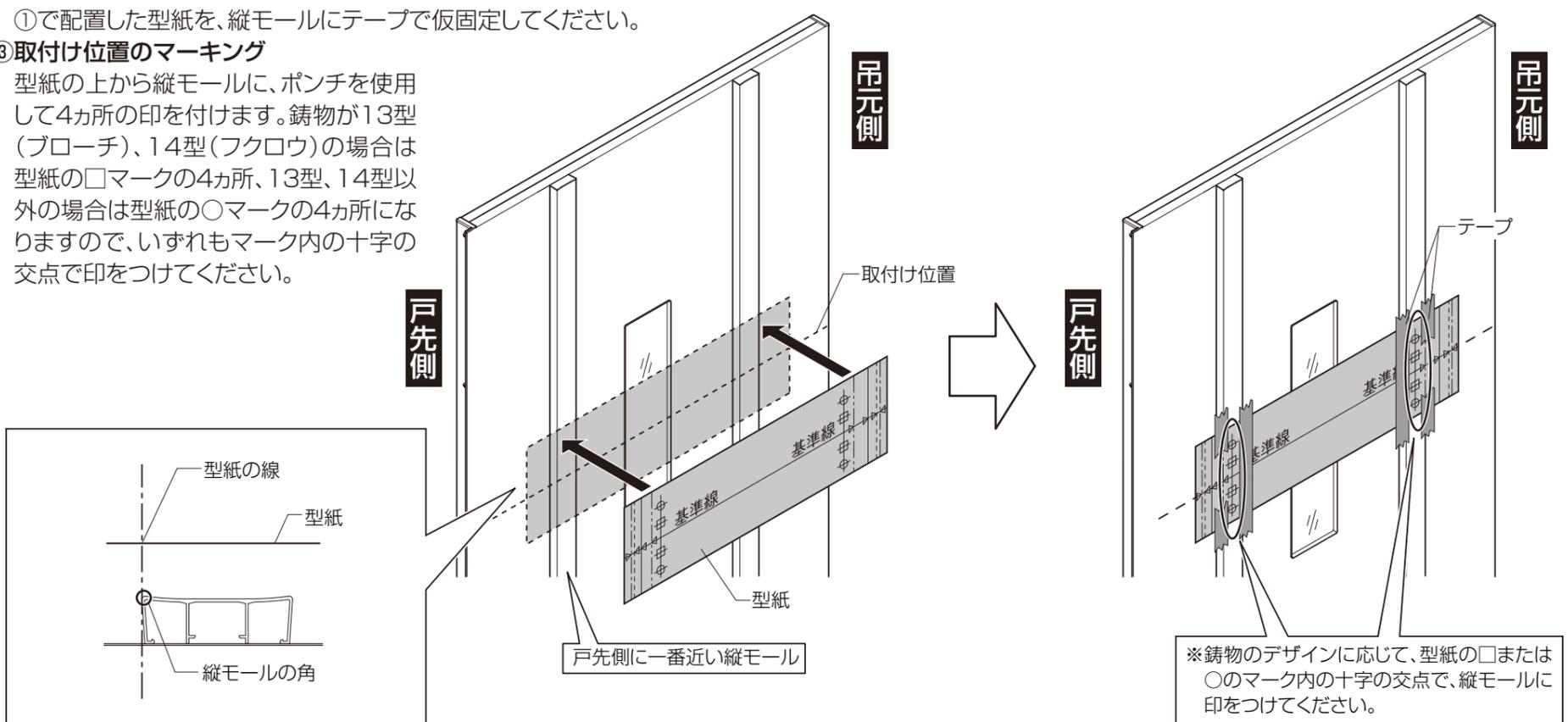
高さ方向は、型紙に表記されている『基準線』を、ガラスの高さの中央に位置するように合わせてください。

② 型紙の仮固定

①で配置した型紙を、縦モールにテープで仮固定してください。

③ 取付け位置のマーキング

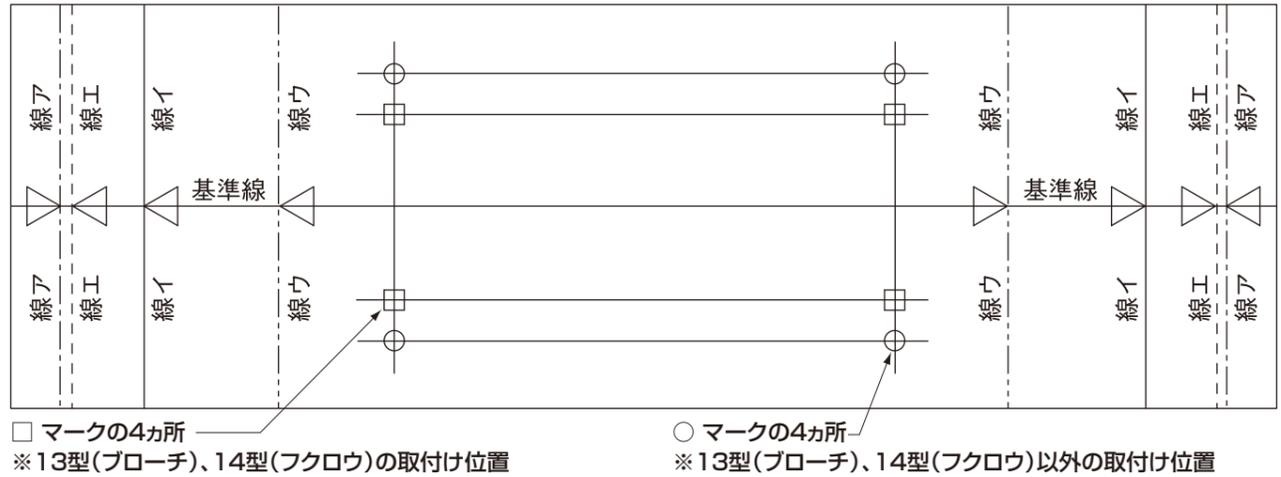
型紙の上から縦モールに、ポンチを使用して4カ所の印を付けます。鋳物が13型(ブローチ)、14型(フクロウ)の場合は型紙の□マークの4カ所、13型、14型以外の場合は型紙の○マークの4カ所になりますので、いずれもマーク内の十字の交点で印をつけてください。



※鋳物のデザインに応じて、型紙の□または○のマーク内の十字の交点で、縦モールに印をつけてください。

型紙の説明

※FG-Eの場合は、型紙の両端部の『線ウ』を使用します。

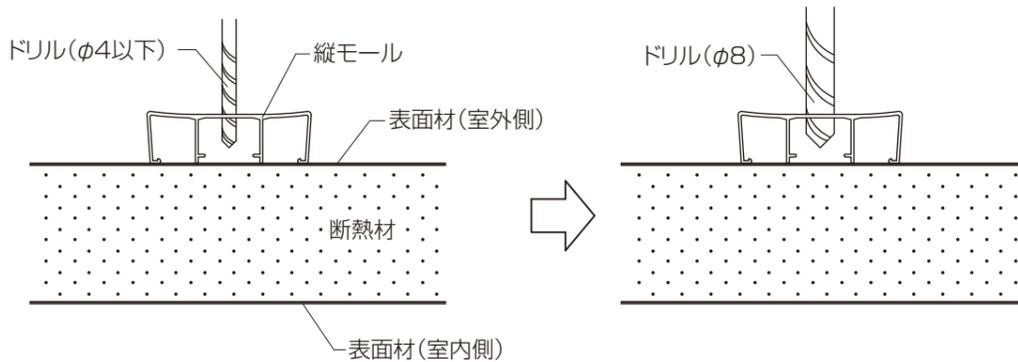


2 穴をあける

1 で付けた4カ所の印に対して、縦モールにφ4以下のドリルで下穴をあけてください。次に同じ個所にφ8のドリルで穴をあけて仕上げてください。

お願い

●ドア本体に穴を開ける際に多少の切粉が出ますので、縦モールや表面材をキズつけないように取除いてください。

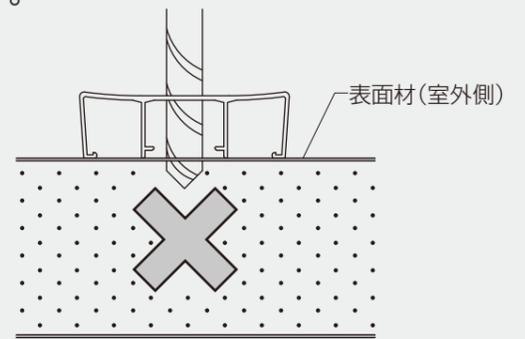


▲ 注意

●ドア本体の縦モールに穴をあけるときは、φ8のドリルで仕上げてください。穴が大きいと鋳物が脱落する原因となります。

▲ 注意

●ドリルで表面材(室外側)に穴をあけないようにしてください。玄関ドアの性能を損なう原因となります。



3 鋳物の取付け

加工した穴にウェルナットを差込み、鋳物をあてがい、ねじで鋳物を取付けてください。

※ねじを締める際は、鋳物でウェルナットを押さえてください。

※ねじを締付け難い場合には、ウェルナットを先に鋳物に軽くねじ止めし、加工穴にウェルナットを差込み締付けてください。

▲ 注意

●鋳物をねじで固定する際、1.2~2N・m(12~20kgf・cm)のトルクで締付けてください。締付けがゆるいと鋳物が脱落する原因となり、締付けがきついとウェルナットが破損する原因となります。

